

科目名 Subject	美容デザイン実習Ⅲ Practice of Beauty Design Ⅲ			教員名	ヘアチーム	
開講年次	1	開講時期	後期	単位	2単位	
必修／選択	選択	授業形態	実習	時間	60時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○	○		
科目の概要	1) 美容に関する基礎理論と知識を学ぶ。実習を通して基礎技術を効率的に実践できるようになる。 2) 美容師国家試験実技課題のワインディング技術（パーマメント技術におけるロッド巻き）、オールウェーブセッティング技術の基礎技術を学びながら、美容に対する興味を深めるべく礎を築いていく。 3) シャンプーの成分について学び、髪や頭皮の理論を理解し、目標時間内にシャンプーの全工程を施術することができる。 4) 習得した知識や技術を繰り返し行うことで、自身の課題発見につながり、応用する場面を想定できる。 5) 自身の目標達成の為、技術施術中の動画を撮影し、改善課題を確認・分析して更なる技術の向上を図る。その際、ペアで動画撮影し学生が互いにフィードバックし合える機会も作ることによって、より多くの気づきが得られる授業を展開する。 6) ゲストスピーカーによる、増毛エクステ技術・ウィッグに関する知識を習得し、知見を深める。					
授業方法	対面授業 状況により対面授業とZOOMによる同時双方向（リアルタイム）のオンライン授業を併用して実施する。 詳しい授業方法については、初回のオリエンテーションにて説明する。 ただし、状況次第でオンライン授業に全てを切り替える可能性もある。					
授業の目標	1) 国家試験の合格レベルを目標として、サロンの現場を主体とした実践教育（技術）を導入し、技術力を明確に蓄積し試験に合格できる。 2) 美容師国家試験実技課題であるワインディング技術、オールウェーブセッティング技術ならびにサロンの現場で必要とされる技術を学び、実践を重ねることによりステップアップができる。 3) シャンプー実習を通して、他者とコミュニケーションを取りながら得た施術に関して課題点を認識し、更なるステップアップができる。					
時間外学習 （予習・復習）	学んだ技術の振り返りを行い、研究しながら繰り返し練習する。また、学習・練習内容をノートに記録し、次の技術目標を設定する。なお、各回の復習には概ね60～90分程度行い、次回の授業の際に技術が後退しないように定着させておくこと。					
教科書・教材	教科書		『美容技術理論 1.2』日本理容美容教育センター編 （2023年）、配布プリント			
	教材		メッシュ袋・消耗品（ワインディング用ペーパー、セットローション等）・シャンプー剤・リンス剤・スマートフォン・フェイスシールド			
	使用設備・備品		なし			
	参考文献		なし			
評価方法	授業態度 10％、提出物（技術課題） 10％、期末試験 80％					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。					
履修上の注意	美容技術を学ぶにあたり、遅刻・欠席はスキルアップに支障が出る為原則認めません。また、その為に再度デモンストレーション等の時間は設けません。授業中の私語、勝手な退出等の不適切と思われる行為を行った場合は、欠席と同等の扱いとします。また、ZOOMによるオンライン授業では、画面上に施術中の技術を放映していただきます。そのため、諸々の環境整備は事前にしておいてください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション パーマネントウェーブ（１） パーマネントウェーブ技術を行う際の諸注意を学ぶ	パーマネント技術の目的を理解し、説明できる。	美容技術理論Ⅰテキスト4章1.2を熟読し、必要な部分はノートに記入し90分程度復習を行う
第2回	パーマネントウェーブ（２） パーマネントウェーブ用ワインディング技術の巻き方を理解し適切に実践できる。	パーマネントウェーブ用ワインディング技術の巻き方を理解し適切に実践できる。	美容技術理論Ⅰテキスト4章3.4を熟読し、必要な部分はノートに記入し90分程度復習を行う
第3回	パーマネントウェーブ（３） パーマネントウェーブ用ワインディング技術を実践する	パーマネントウェーブ用ワインディング技術の巻き方を理解し適切に実践できる。	美容技術理論Ⅰテキスト4章5.6を熟読し、必要な部分はノートに記入し90分程度復習を行う
第4回	パーマネントウェーブ（４） 2浴式コールドウェーブ施術プロセスについて学ぶ	2浴式コールドウェーブ施術プロセスを理解し適切に実践できる。	美容技術理論Ⅰテキスト4章7を熟読し、必要な部分はノートに記入し90分程度復習を行う
第5回	パーマネントウェーブ（５） 2浴式コールドウェーブ施術プロセスを実践する	2浴式コールドウェーブ施術プロセスを理解し実践できる。	美容技術理論Ⅰテキスト4章を熟読し、必要な部分はノートに記入90分程度復習を行う
第6回	ゲストスピーカー金房氏による講義（１） 増毛エクステンション技術の現状、種類、施術例等の理論（個人での活動）技術デモンストレーション	増毛エクステ技術に関する知識を習得し、活用できる場面を想定することが出来る。知見を深めることにより、将来進むべき道についてよく考え行動することができる。	学び得た技術のレポートを作成し、60分程度復習を行う
第7回	ゲストスピーカー金房氏による講義（２） 増毛エクステンション技術の現状、種類、施術例等の理論（個人での活動）技術デモンストレーション	増毛エクステ技術に関する知識を習得し、活用できる場面を想定することが出来る。知見を深めることにより、将来進むべき道についてよく考え行動することができる。	学び得た技術のレポートを作成し、60分程度復習を行う
第8回	ゲストスピーカー伴仲氏による講義（１） ウィッグの需要と現状、基礎知識、種類、アドバイス方法、助成金についての講義。（企業での活動）	ウィッグに関する基礎知識やアドバイス方法を習得し、薄毛・脱毛に悩む人々の状況や気持ちを理解し、解決策について考え想定することができる。	学び得た技術のレポートを作成し、60分程度復習を行う
第9回	ゲストスピーカー伴仲氏による講義（２） ウィッグの需要と現状、基礎知識、種類、アドバイス方法、助成金についての講義。（企業での活動）	ウィッグに関する基礎知識やアドバイス方法を習得し、薄毛・脱毛に悩む人々の状況や気持ちを理解し、解決策について考え想定することができる。	学び得た技術のレポートを作成し、60分程度復習を行う
第10回	シャンプー技術（１） 指圧シャンプー基礎理論 デモンストレーション・実践	指圧シャンプーの基礎を理解し、実践できる。	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習を90分程度行う
第11回	ワインディング技術（デザイン巻き）全頭を実践する （以下ワインディングをWDと表記する）	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる。（ブロッキング込・全頭25分）	9ブロッキングと全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第12回	シャンプー技術（２） 指圧シャンプー復習 指圧マッサージ デモンストレーション・実践	指圧マッサージの基礎を理解し、実践できる。	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習を90分程度行う
第13回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる。（ブロッキング込・全頭25分）	9ブロッキングと全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第14回	シャンプー技術（３） 指圧シャンプー シャンプー実践・復習、ヘアトリートメントデモンストレーション・実践	ヘアトリートメントの目的を理解し実践できる。	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習を90分程度行う
第15回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる。（ブロッキング込・全頭25分）	9ブロッキングと全頭WDを授業前に90分程度予習しておく

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	シャンプー技術（4） 指圧シャンプー シャンプー実践・復習	指圧シャンプーの目的を理解し実践できる	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習を90分程度行う
第17回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる（ブロッキング込・全頭23分）	全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第18回	シャンプー技術（5） 指圧シャンプー シャンプー実践・復習、ヘアトリートメントデモンストレーション・実践	ヘアトリートメントの目的を理解し実践できる	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習を90分程度行う
第19回	フィンガーウェーブ技術 ワンストローク・リッジのつなぎ方の復習し実践する (以下、フィンガーウェーブ技術をFWと表記する)	ワンストローク・リッジのつなぎ方を理解し実践できる	授業終了後90分程度復習すること
第20回	シャンプー技術（6） 指圧シャンプー シャンプー実践・復習、ヘアトリートメントデモンストレーション・実践	ヘアトリートメントの目的を理解し実践できる	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習を90分程度行う
第21回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる（ブロッキング込・全頭22分）	9ブロッキングと全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第22回	FW技術 バック3線 FW1線を実践する	FW1線を理解し実践できる	授業終了後90分程度復習すること
第23回	シャンプー技術（7） 指圧シャンプー シャンプー実践・復習、ヘアトリートメントデモンストレーション・実践	ヘアトリートメントの目的を理解し実践できる	毎回シャンプー技術の授業後は、配布されるテキストを熟読し手順の復習90分程度行う
第24回	FW技術 バック3線 FW1線の復習 2線目を実践する	FW1.2線を理解し実践できる	授業終了後60分程度復習すること
第25回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、9ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる（ブロッキング込・全頭20分）	9ブロッキングと全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第26回	FW1.2.3線を理解し実践できる	授業終了後60分程度復習すること	全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第27回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる（ブロッキング込・全頭20分）	全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第28回	FW技術 バック3線 FW1.2.3線の復習 クロッキノールカールを実践する	FW技術バック3線とクロッキノールカールを理解し実践できる	授業終了後90分程度復習すること
第29回	WD技術（デザイン巻き） 全頭を実践する	時間を意識し、ブロッキングと全頭の収め方を理解し実践できる（ブロッキング込・全頭20分）	全頭WDを授業前に90分程度予習しておく
第30回	FW技術 バック3線を実践する	FW技術バック3線とクロッキノールカールを理解し実践できる（40分）	授業終了後90分程度復習すること